

Kino Press is a newsletter published by Kyoto Seika University and distributed to students, faculty, administrators, graduates and other members of the university community.

1995年10月16日
京都精華大学発行

KINO PRESS

木野通信

KYOTO SEIKA UNIVERSITY 第24号

This publication is intended to keep readers informed of all aspects of K.S.U.'s development, including on campus event, personnel changes, student news, and perspectives on campus life.

京都精華大学 庶務課
京都市左京区岩倉木野町137
TEL (075) 702-5200



▲京都精華大学全景航空写真（1995年10月）

悠々たる館

理事長 笠原芳光

小さな、だがどこよりも自由な大學として出発した京都精華大学も創立二十七年を迎えました。

始まったのは、ちょうど世界中が

「大学はこれでよいのか」と問われ

ている時代でした。そこで、今まで

の大学の短所、欠点をすべて無くそ

うと考へ、「自由自治」の理念のも

とに教職員も学生も一体となつてつ

くってきたのが、この大学です。

以来、さまざまな困難を乗り越え

て、今までユニークな文化と藝術

の大学として歩んできました。しか

し、校地が狭く、施設が不十分なこ

とが長年の悩みでした。

やがて隣接の、それも緑ゆたかな

土地が与えられ、そこに待望してい

た体育館、厚生棟、学生クラブボッ

クスが完成しました。ひき続き図書

情報館と講義棟を建設することになっ

ています。

十年あまり前から新設の建物には

それまでの一号館、二号館などと違つ

た名称をつけることにしました。

春秋季館、風光館、流漫館、一星館

などです。

そこで食堂、喫茶、書籍・画材売

場のある厚生棟には「悠々館」、学

生クラブボックスには「遠友館」、

悠々館のなかの喫茶室には「アルス」

という名前をつけました。

悠々ははるかなさま、またゆったりしていることを表しています。遠友は「友あり遠方より来る。また樂しからずや」によっています。そしてアルスは芸術を意味しています。

いずれも内容にふさわしい名稱であつ

てほしいものです。なお「体育館」

はその機能のままの名前になりました。

大学は歴史的存在です。これまで

の先輩たちのこした遺産と伝統に

よつて、これらの建物ができました。

これをつきの世代にひきぎ、さら

に新しい発展をはかりたいと思いま

す。

多くの方々の御尽力と御好意によつ

て、きょう竣工の日を迎えるました。

心から感謝しております。

（竣工式典資料・建築概要より）

体育馆等竣工披露式典舉行

今回の施設が学生にとっていざれんとか学生と一緒に祝いたいと考え、式典において学生自治会食事が挨拶をし、また一般学生には悠々館一階の食堂が無料で開放されました。当日は、十曜日にもかかわらず非常な賑わいぶりでした。

待望の施設竣工

食堂・体育館・グランド・クラブ室



自由自治と友愛の精神の涵養を

学長 斎藤博

このたび、待望の体育館、悠々館（食堂他）及び遠友館（クラブボックス他）が竣工しました。これらの施設は学生生活の充実にとりわけ密接に関係するものばかりなので、全

学の教職員・学生諸君とともに完成

を喜びたいと思います。

これをもって施設整備総合計画第

一期事業中の第一次事が終りました。

しかし、引き続き図書情報館及び講

義棟の建設が予定されています。

約三十年前の開学当時の状況を思

い起こしつつの計画がすべて完了

したときの様子を想像しますと、ま

ことに隔世の感がいたします。

これまでにご支援・ご協力いただ

きました卒業生・ご父母・関係諸団

体の方々に心から感謝することともに

今後も一層のご理解とお力添えをお

願いする次第です。

本学は五百日規模の短期大学とし

て出発ましたが、現在では美術学

部・人文学部の二学部と大学院美術研究科及び人文学研究科をもつ三千名規模の大学となり、卒業生も既に一万名を越えています。そして、この四半世紀余の歴史を一貫する本学の理念は「自由・自治主義」と「友愛の精神」でした。

初代学長の岡本清一先生が唱導されたこの目標は極めて高遠で、それゆえその実践には、さまざまな困難が伴いますが、世界の枠組みが大きく変動し、時代を導く思想や学問・芸術のありがたが問われていて日々この理想的意義について深く考えるとともに日々その体得に努める責務が私たち教職員・学生一人一人に課されていると思います。

本日竣工式を迎えたこれらの施設を新たな活動舞台とすることによつて、教職員や学生諸君の間に「自由・

自治・友愛の精神」が一層潤養され、ひいては本学の教育・研究活動が更に充実発展に向かう契機となるよう願っています。

（竣工式典資料・建築概要より）

京都精華大学

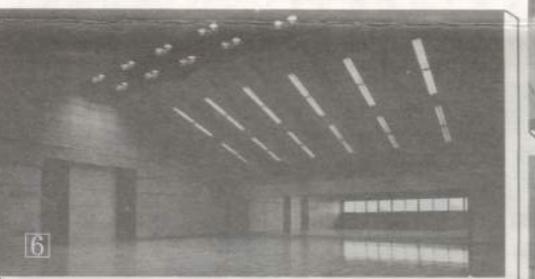
竣工施設

遠友館

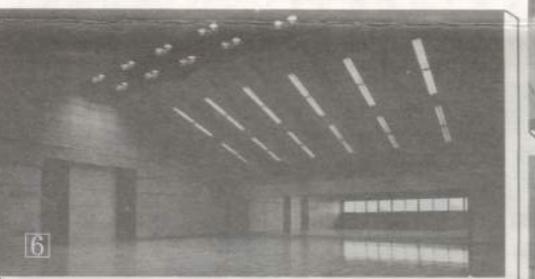
全景 ①



内部通路 ②



クラブ部室 ③



体育館

全景 ④



1F メインアリーナ ⑤

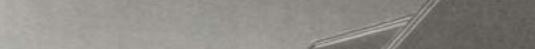


3F サブアリーナ ⑥

2F トレーニングルーム ⑦



2F 講義室 ⑧



ありがとうございました

『阪神大震災被災者

援助基金』へのご協力

拝啓 各位におかれましたは幸存
ご清栄のこととお慶び申し上げま
す。

平素は、本学の発展同様に格別

のご高配を賜り厚くお礼申し上げ
ます。

さて、このたびの阪神大震災の
被災により、学業継続に少なから
ず支障のため本学々生に対する支
援のために『被災者援助基金』

を計画いたしましたところ、早速
にあたたかいご理解とご支援を賜
り、ありがとうございました。
お陰様で、別記の通り学生に援
助することができました。十分な
援助ではございませんが、学生諸
君も頑張ってくれることと思いま
す。

重ねて皆様のご厚意に感謝申し
上げます。現在寄付の申込みは以
下の通りとなっております。
併せてご報告申し上げます。
大学は体育館を始めいろいろな
施設が整備されてまいりました。
以前とはすいぶん様子が変わり
ましたが、是非お一度お尋ね下さ
いますようお願いいたします。

京都精華大学長 柴藤 博
敬具

寄付申込総計（九月三日現在）
一〇九九件 二二八一、〇六四円

教職員関係 二九件 一〇七〇八、〇〇〇円

卒業生関係 七八二三、六五七円
七〇十件 三、〇八九、四〇七円
在学生関係（新入生も含む）
七〇八件 一〇七〇八、〇〇〇円

柴谷篤弘先生 九六件 二二八一、〇六四円

柴谷篤弘先生 二九件 一〇七〇八、〇〇〇円

笠原芳光教授

理事長に就任

学校法人木野学園理事長の駒井四郎氏が、ご病気のために理事長を辞任されたのに伴い、後任者に理事会は笠原芳光教授を選任しました。

笠原理事長は、専門が宗教学で、このたび木野学園理事長に就任されました。

任期は一九九五年三月十九六年十

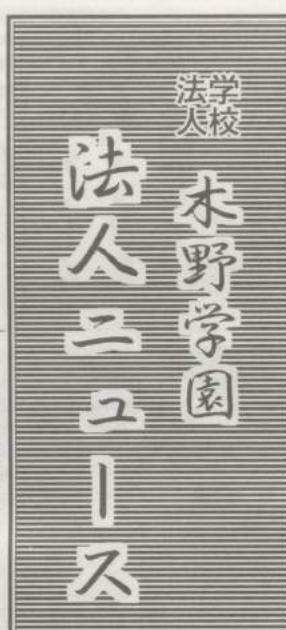
月まで。

精華大学長（二期九年）などを兼任して、京都精華学園の理事、理事長、京都

精華大学長（二期八年）などを兼任して、京都精華学園の理事、理事長、京都



前学長 柴谷篤弘氏



入試広報課

自由選抜入学試験スタート!!

人文学部

自由選抜入学試験スタート!!

出願期間

第一次選考合格発表

試験日

最終選考合格発表

手続締切

1995年12月11日(月)～

1996年1月9日(火)

1996年1月16日(火)

1996年1月22日(月)

1996年1月31日(水)

1995年12月19日(火)

1996年1月9日(火)

1996年1月16日(火)

1996年1月22日(月)

<p